



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社 赤阪鐵工所 上場取引所 東
 コード番号 6022 URL <https://www.akasaka-diesel.jp>
 代表者 (役職名)取締役会長兼社長 (氏名)杉本 昭
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役執行役員総務本部長 (氏名)塚本 義之 (TEL)054(685)6081
 定時株主総会開催予定日 2021年6月28日 配当支払開始予定日 2021年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	7,986	△17.4	△250	—	△145	—	△234	—
2020年3月期	9,667	2.8	38	—	28	290.4	48	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△177 37	—	△3.1	△1.2	△3.1
2020年3月期	32 36	—	0.6	0.2	0.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 ー百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	11,768	7,682	65.3	5,800 69
2020年3月期	12,128	7,789	64.2	5,881 04

(参考) 自己資本 2021年3月期 7,682百万円 2020年3月期 7,789百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	882	△276	278	2,424
2020年3月期	△134	△530	△291	1,539

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	—	—	30 00	30 00	40	92.7	0.5
2021年3月期	—	—	—	30 00	30 00	40	—	0.5
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2022年3月期の配当予想は未定であります。

3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	6,700	△16.1	3	—	35	—	22	—	16 61	

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : | 無 |
| ④ 修正再表示 | : | 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数 |

2021年3月期	1,540,000株	2020年3月期	1,540,000株
2021年3月期	215,549株	2020年3月期	215,419株
2021年3月期	1,324,519株	2020年3月期	1,483,501株

- (注) 当社は「株式給付信託（BBT）」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託（BBT）」に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(持分法損益等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	14
(1) 生産、受注及び販売の状況	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における国内経済は、徐々に持ち直しの動きが見られたものの、新型コロナウイルスの感染再拡大により依然として先行きの不透明な状態が続いております。世界経済についても、新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されたものの、収束の兆しは見えておらず、依然として先行きの見通せない状況が続いております。

海運業界は、製品輸送の輸送量が顕著に落ちこみ、原料輸送も総じて荷動きが鈍化しておりましたが、各国での経済活動の再開に伴い下半期からは回復基調にあります。しかしながら先行きは予断を許さない状況が続いております。

造船業界は、世界的な船腹過剰や陳腐化リスクへの警戒などを背景とした新造船建造需要の低迷にコロナ禍が直撃し、将来の不透明感や移動制限に伴う交渉の停止により商談が冷え込み、厳しい状況が続いております。

このような状況下、船腹過剰継続による主機関の受注減少及び営業活動の大幅な制限により部分品・修理工事等の売上が大幅に減少したことで、売上高は7,986百万円（前期比17.4%減）となり当初の計画を下回りました。一方、地球温暖化対策に向けた規制強化への対応や自律運航船の実現に向けた動きは加速しており、当社もその対応に係る試験研究費が増加しております。その結果、経常損失145百万円（前年は経常利益28百万円）、当期純損失234百万円（前年は当期純利益48百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産は11,768百万円となり、前事業年度末に比べ359百万円減少いたしました。流動資産は7,377百万円となり、719百万円減少いたしました。主な要因は、債権回収や金融機関からの借入れ等による現金及び預金の増加（884百万円）等に比べ、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う営業活動の制限による売上債権の減少（1,211百万円）や既受注製品の出荷による棚卸資産の減少（381百万円）等によるものです。固定資産は4,391百万円となり、360百万円増加いたしました。主な要因は、設備投資による有形固定資産の増加（81百万円）、株価上昇による投資有価証券の増加（242百万円）等によるものです。

当事業年度末の負債は4,086百万円となり、前事業年度末に比べ252百万円減少いたしました。主な要因は、社債発行や金融機関から借入を実施したこと等による借入債務の増加（324百万円）に比べ、受注減少に伴い仕入債務の減少（781百万円）等によるものです。

当事業年度末の純資産は、当期純損失の計上もあり、7,682百万円となり、前事業年度末に比べ107百万円減少いたしました。この結果、自己資本比率は65.3%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて884百万円増加し、当事業年度末には2,424百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、882百万円（前期は134百万円の使用）となりました。これは減価償却費333百万円及び売上債権の減少額1,217百万円、たな卸資産の減少額381百万円等による増加に対して、仕入債務の減少781百万円及び税引前当期純損失145百万円の計上等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、276百万円（前期は530百万円の使用）となりました。これは主に固定資産の取得による支出271百万円等による減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、278百万円（前期は291百万円の使用）となりました。これは、長期借入金による借入や社債の発行による収入546百万円の増加に対して、借入金の返済や社債の償還による支出225百万円の減少等であります。

(4) 今後の見通し

来期の見通しといたしましては、船腹過剰継続による主機関の受注台数の減少が予想され、陸上部門におきましても新型コロナウイルス感染再拡大が重石となり、依然として厳しい状況です。そのような状況下、経営基本方針として「挑む」「変える」「育てる」の3つのキーワードで従来の取組を見直し、会社組織の強化を図ってまいりましたが、この度、第124期(2022年3月期)を初年度とした5ヵ年の中期経営計画を策定し運用を開始いたしました。この計画ではSDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標) への貢献と2025年度に売上高100億円、経常利益4億円を目指しています。

脱炭素社会実現に向けた規制強化や自律運航船の実用化に向けた動きは加速しており、それに繋がる技術開発を推し進め、ウィズ・ポストコロナの中での持続的成長と社会課題の解決を通じて企業価値を高め、当社ブランド力の向上を図ってまいります。

このような見通しのもと、来期は売上高67億円、経常利益35百万円、当期純利益22百万円を計画しております。

また、来期の配当につきましては、今しばらく業績動向を見極める必要があるため、現時点では未定とさせていただきます、開示が可能となった時点で速やかに開示する予定であります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,762,543	2,647,423
受取手形	358,525	290,280
電子記録債権	629,451	485,974
売掛金	2,480,269	1,480,937
製品	70,500	80,761
仕掛品	2,316,372	1,948,057
原材料及び貯蔵品	434,311	410,538
前払費用	469	2,164
その他	52,936	33,723
貸倒引当金	△7,666	△2,091
流動資産合計	8,097,714	7,377,771
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,296,305	5,374,601
減価償却累計額	△4,009,761	△4,098,607
建物(純額)	1,286,543	1,275,993
構築物	727,093	726,493
減価償却累計額	△602,555	△611,598
構築物(純額)	124,537	114,894
機械及び装置	8,360,012	8,579,112
減価償却累計額	△8,069,844	△8,049,388
機械及び装置(純額)	290,167	529,723
車両運搬具	111,576	114,134
減価償却累計額	△103,811	△108,989
車両運搬具(純額)	7,765	5,145
工具、器具及び備品	2,037,982	2,107,912
減価償却累計額	△1,950,706	△2,010,039
工具、器具及び備品(純額)	87,276	97,872
土地	858,347	858,347
リース資産	—	9,996
減価償却累計額	—	△1,832
リース資産(純額)	—	8,163
建設仮勘定	168,100	14,267
有形固定資産合計	2,822,738	2,904,408
無形固定資産		
ソフトウェア	92,420	100,943
その他	5,254	5,225
無形固定資産合計	97,675	106,169

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	720,436	962,661
関係会社株式	9,052	9,052
出資金	373	373
長期貸付金	12,650	11,650
従業員に対する長期貸付金	14,550	13,009
破産更生債権等	7,737	1,689
長期前払費用	559	249
前払年金費用	237,181	270,698
その他	132,771	129,060
貸倒引当金	△24,952	△17,981
投資その他の資産合計	1,110,360	1,380,463
固定資産合計	4,030,775	4,391,042
資産合計	12,128,489	11,768,813

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	685,501	106,663
電子記録債務	—	232,125
買掛金	1,666,367	1,286,163
短期借入金	174,980	174,980
1年内返済予定の長期借入金	100,072	170,064
1年内償還予定の社債	100,000	40,000
リース債務	—	2,199
未払金	12,316	146,440
未払費用	389,872	301,198
未払法人税等	53,225	11,035
前受金	318,097	357,140
預り金	8,589	8,831
前受収益	5,244	5,182
賞与引当金	137,600	129,600
製品保証引当金	173,738	167,250
設備関係支払手形	32,743	—
その他	19,645	1,503
流動負債合計	3,877,992	3,140,376
固定負債		
社債	—	160,000
長期借入金	289,803	444,743
リース債務	—	6,780
繰延税金負債	15,336	168,220
退職給付引当金	24,292	26,874
役員株式給付引当金	15,638	22,972
執行役員退職慰労引当金	1,050	1,650
その他	114,463	114,463
固定負債合計	460,583	945,704
負債合計	4,338,576	4,086,081

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,000	1,510,000
資本剰余金		
資本準備金	926,345	926,345
資本剰余金合計	926,345	926,345
利益剰余金		
利益準備金	377,500	377,500
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	75,540	70,244
別途積立金	3,930,030	3,930,030
繰越利益剰余金	1,305,540	1,035,133
利益剰余金合計	5,688,611	5,412,909
自己株式	△436,558	△436,746
株主資本合計	7,688,399	7,412,508
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	101,513	270,223
評価・換算差額等合計	101,513	270,223
純資産合計	7,789,913	7,682,732
負債純資産合計	12,128,489	11,768,813

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	9,667,874	7,986,126
売上原価		
製品期首たな卸高	—	70,500
当期製品製造原価	8,149,333	6,791,691
他勘定受入高	14,253	14,080
合計	8,163,586	6,876,272
製品期末たな卸高	70,500	80,761
製品売上原価	8,093,086	6,795,510
売上総利益	1,574,787	1,190,615
販売費及び一般管理費	1,536,353	1,441,349
営業利益又は営業損失(△)	38,434	△250,734
営業外収益		
受取利息	261	192
受取配当金	28,494	25,944
スクラップ売却益	16,481	16,653
助成金収入	—	47,098
その他	32,922	38,188
営業外収益合計	78,160	128,077
営業外費用		
支払利息	5,807	8,741
社債発行費	—	3,242
支払補償費	68,253	8,532
為替差損	12,847	—
その他	1,207	2,506
営業外費用合計	88,115	23,023
経常利益又は経常損失(△)	28,479	△145,679
特別利益		
投資有価証券売却益	16,841	—
受取保険金	135,219	—
特別利益合計	152,060	—
特別損失		
投資有価証券評価損	68,158	—
特別損失合計	68,158	—
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	112,381	△145,679
法人税、住民税及び事業税	38,677	5,549
法人税等調整額	25,694	83,694
法人税等合計	64,371	89,244
当期純利益又は当期純損失(△)	48,010	△234,923

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			
				固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余 金		
当期首残高	1,510,000	926,345	926,345	377,500	80,864	3,930,030	1,298,390	5,686,786
当期変動額								
剰余金の配当							△46,184	△46,184
当期純利益又は当期 純損失(△)							48,010	48,010
固定資産圧縮積立金 の取崩					△5,324		5,324	—
自己株式の取得								
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	△5,324	—	7,149	1,825
当期末残高	1,510,000	926,345	926,345	377,500	75,540	3,930,030	1,305,540	5,688,611

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証 券 評価差額金	繰延ヘッジ損 益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△76,187	8,046,945	196,886	△12,944	183,941	8,230,886
当期変動額						
剰余金の配当		△46,184				△46,184
当期純利益又は当期 純損失(△)		48,010				48,010
固定資産圧縮積立金 の取崩		—				—
自己株式の取得	△360,371	△360,371				△360,371
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)			△95,372	12,944	△82,427	△82,427
当期変動額合計	△360,371	△358,545	△95,372	12,944	△82,427	△440,973
当期末残高	△436,558	7,688,399	101,513	—	101,513	7,789,913

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			
				固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余 金	利益剰余金合 計	
当期首残高	1,510,000	926,345	926,345	377,500	75,540	3,930,030	1,305,540	5,688,611
当期変動額								
剰余金の配当							△40,778	△40,778
当期純利益又は当期 純損失(△)							△234,923	△234,923
固定資産圧縮積立金 の取崩					△5,295		5,295	—
自己株式の取得								
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	△5,295	—	△270,406	△275,702
当期末残高	1,510,000	926,345	926,345	377,500	70,244	3,930,030	1,035,133	5,412,909

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証 券 評価差額金	繰延ヘッジ損 益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△436,558	7,688,399	101,513	—	101,513	7,789,913
当期変動額						
剰余金の配当		△40,778				△40,778
当期純利益又は当期 純損失(△)		△234,923				△234,923
固定資産圧縮積立金 の取崩		—				—
自己株式の取得	△188	△188				△188
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)			168,709	—	168,709	168,709
当期変動額合計	△188	△275,890	168,709	—	168,709	△107,181
当期末残高	△436,746	7,412,508	270,223	—	270,223	7,682,732

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	112,381	△145,679
減価償却費	261,601	333,516
固定資産除売却損益 (△は益)	△37	868
投資有価証券売却損益 (△は益)	△16,841	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	68,158	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,795	△12,545
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,300	△8,000
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	61,035	△6,488
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,547	2,582
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	8,196	7,333
執行役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	600	600
受取保険金	△142,133	△9,502
助成金収入	—	△47,098
受取利息及び受取配当金	△28,756	△26,136
支払利息	5,807	8,741
社債発行費	—	3,242
売上債権の増減額 (△は増加)	△592,165	1,217,100
たな卸資産の増減額 (△は増加)	93,365	381,826
その他の資産の増減額 (△は増加)	△19,459	△30,952
仕入債務の増減額 (△は減少)	△72,806	△781,613
未払又は未収消費税等の増減額	△10,854	35,426
その他の負債の増減額 (△は減少)	△25,990	△77,633
小計	△292,350	845,588
利息及び配当金の受取額	28,756	26,136
利息の支払額	△6,043	△9,195
保険金の受取額	142,133	9,502
助成金の受取額	—	47,098
法人税等の支払額	△7,209	△37,017
営業活動によるキャッシュ・フロー	△134,712	882,112
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△417,000	△422,000
定期預金の払戻による収入	422,000	422,000
固定資産の取得による支出	△569,035	△271,329
投資有価証券の取得による支出	△4,574	△4,325
投資有価証券の売却による収入	36,137	—
従業員に対する貸付けによる支出	△500	△1,500
貸付金の回収による収入	4,276	4,040
その他	△1,538	△2,911
投資活動によるキャッシュ・フロー	△530,233	△276,025

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△8,340	—
長期借入れによる収入	200,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△77,769	△125,068
社債の発行による収入	—	196,757
社債の償還による支出	—	△100,000
リース債務の返済による支出	—	△2,015
自己株式の増減額 (△は増加)	△360,371	△188
配当金の支払額	△44,610	△40,692
財務活動によるキャッシュ・フロー	△291,090	278,793
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△956,036	884,879
現金及び現金同等物の期首残高	2,495,580	1,539,543
現金及び現金同等物の期末残高	1,539,543	2,424,423

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社の事業は船用内燃機関及び部分品の設計・製造・修理・販売及びその関連事業を主体とした単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社が有しているすべての関連会社は、利益基準及び利益剰余金基準から見て重要性の乏しい関連会社であるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	5,881円04銭	5,800円69銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	32円36銭	△177円37銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、前事業年度は潜在株式が存在しないため記載しておりません。当事業年度は1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	48,010	△234,923
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	48,010	△234,923
普通株式の期中平均株式数(株)	1,483,501	1,324,519

※ 「株式給付信託(BBT)」が保有する当社自己株式(前事業年度 34,700株 当事業年度 34,700株)を1株当たり当期純利益又は当期純損失の算定上、普通株式の期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度末 (2020年3月31日)	当事業年度末 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	7,789,913	7,682,732
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	7,789,913	7,682,732
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	1,324,581	1,324,451

※ 「株式給付信託(BBT)」が保有する当社自己株式数(前事業年度 34,700株 当事業年度 34,700株)を1株当たり純資産額の算定上、期末の普通株式の数の計算において控除する自己株式数に含めております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社の事業は船用内燃機関及び部分品の設計・製造・修理・販売及びその関連事業を主体とした単一セグメントであります。

①生産実績

当事業年度の生産実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前期比(%)
内燃機関関連事業	7,996,388	△17.9

- (注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当事業年度における受注実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前期比(%)	受注残高(千円)	前期比(%)
内燃機関関連事業	6,138,459	△36.5	1,651,400	△52.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当事業年度における販売実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前期比(%)
内燃機関関連事業	7,986,126	△17.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。